

Q1 盆栽は、どうして小さいの？

A 限られた器の中で育てており、根の量が限られているため、また新芽や枝、根の剪定を定期的に行うためです。

Q2 どうして、枯れないで生きているの？

A 生きていくための水やりや手入れを欠かさず行っているためです。盆栽に対して愛情を注ぐとより長生きします。

Q3 幹の一部が白くなっているのはなに？

A 厳しい自然の風雪に耐え、何十年、何百年もの間生きながらえ、幾度も枯死寸前の危機にあり、枝幹が折れたり枯れたりして、それらが朽ちて白骨化した部分です。これ以上腐らせなくするために、石灰硫黄合剤を塗っています。これにより生きている茶色部分と、枯れている白色部分、葉の緑色部分の美しいコントラストを際立たせます。幹及び枝部を舍利（シャリ）、枝先を神（ジン）と呼びます。

Q4 剪定はどうしたらいいの？

A 樹形を作り上げていくために、若い木は、枝を多く残しながら整姿します。そして古木になるにつれて、徐々に不必要な枝を整理していきます。勢いよく出てくる新芽や枝は、葉芽を少し残して切り詰めます。

Q5 盆栽を置く場所はどこがいいの？

A 日光が良く当たり、風通しの良い、そして作業や鑑賞のしやすい棚上が理想です。樹種によって夏季は半日陰になる場所や冬季の寒さ保護も必要です。

Q6 植え替えの時期はいつがいいの？

A 地域や樹種により異なりますが基本的には雑木盆栽は、3月初旬から中旬頃、松柏盆栽は3月中旬から4月中旬頃が適期です。

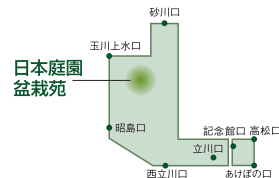
交通のご案内

※繁忙期は周辺道路が大変混雑しますので、ご来園は公共交通機関をご利用ください。



● JRご利用の場合は西立川口ゲート、自動車ご利用の場合は砂川口ゲートが、最寄ゲートです。

● 各ゲートから日本庭園（盆栽苑）までは、園内を巡回する「パークトレイン（日本庭園前下車）」やレンタサイクルをご利用になると便利です。



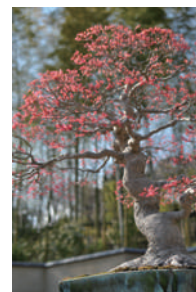
徒歩の場合の所要時間の目安

あけぼの口から	35分
立川口から	30分
西立川口から	20分
昭島口から	25分
玉川上水口から	15分
砂川口から	15分
高松口から	35分

交通手段	時間／料金	備考
パークトレイン	1回 大人……………400円 小人（4～15才）…200円	● 時間・停留所等詳しくはお問い合わせ下さい。● フリーパス券（4才以上600円）を発売しております。（期間限定）
自転車 立川口・西立川口・砂川口サイクルセンター	3時間 大人……………600円 小人……………350円	貸出 通年9:30～閉園1時間前

利用のご案内

- 盆栽苑の入場は無料。ただし別途国営昭和記念公園の入園料が必要です。
- 盆栽苑の閉園時間 9:30～閉園30分前



お問い合わせ

国営昭和記念公園 管理センター

〒190-0014 東京都立川市緑町3173

☎042 (528) 1751（電話自動応答システム）

URL <https://www.showakinen-koen.jp>

日本庭園

盆栽苑



ゆとりある
時間を過ごす



国営昭和記念公園

盆栽苑

讀樹亭(案内所)

- ・床飾りや棚飾りなど室内での盆栽の楽しみ方を展示します。
- ・盆栽に関する相談を受け付けます。

展示ゾーン

- ・古木を展示します。

学習ゾーン

- ・盆栽の種類を紹介します。
- ・盆栽の育て方を紹介します。

エントランスゾーン

- ・盆栽の楽しみ方を紹介します。



0 1 2 5 10m

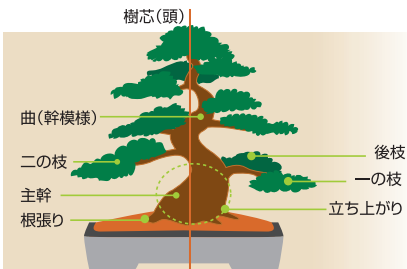
盆栽苑全体図

- 盆栽は自然を愛する日本人の優しい心に育まれてきた日本古来の伝統文化です。
また盆栽は植物の成長とともに楽しむ、完成のない『生きた芸術』と呼ばれています。
- 盆栽苑では、芸術作品としても優れた盆栽を鑑賞していただくと同時に、若木が盆栽へと成長して行く過程をごらんいただけます。

盆栽の楽しみ方は人それぞれですが、ひとつひとつの盆栽に大きな自然の景色の広がりを感じていただけると幸いです。

盆栽のつくり

盆栽のつくりは、おもに下の図のとおりとなります。



盆栽の三要素

盆栽を鑑賞する上では、『盆栽の三要素』と呼ばれる重要なポイントがあります。

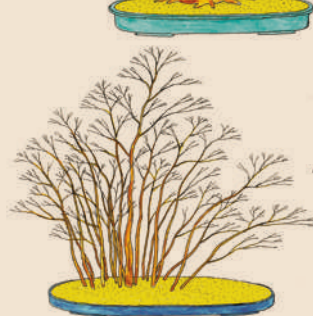
- 1 根張り** 盆栽の根が四方八方に張り出して、安定感と力強さがあること。
- 2 幹** 立ち上がりが素直で、上に行くほど自然に細くなっていくこと。
- 3 枝配り** 幹から出ている枝の太さや間隔がバランスよく配置されていること。

これらの要素を兼ね備えたものが理想的とされています。しかし、たとえ一つが欠けていたとしても、長所を伸ばしてやることで優れた盆栽とすることができます。それが『生きた芸術』と呼ばれる所以でもあります。

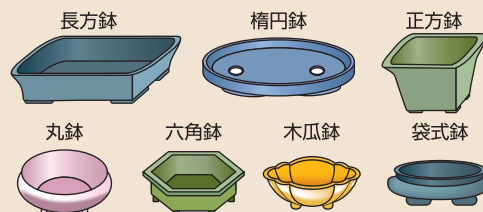
※盆栽に手をふれないでください。

※三脚での撮影はお断りします。

樹形のいろいろ



盆栽の鉢



盆栽は樹の姿かたちだけでなく、鉢との調和も鑑賞する上では重要なポイントです。鉢には釉薬のかかっていないものと、青や白の釉薬がかかったものとがあります。また大きさや形も様々です。それらの中から、それぞれの盆栽にもっとも似合った鉢を選び出すことが大切です。鉢を変えただけで盆栽の印象はガラリと変わります。